

「食産業と健康長寿社会の発展を目指して — 産・学・官・民の協調と食と健康の科学の育成 —」開催のご案内

超高齢化社会の到来とともに国民の健康意識が高揚しつつあり、特に食と健康の関係についての関心が年々高まっています。食に期待される役割が注目されるとともに、日常の食事と健康、さらには機能性食品の意義や利用法についての科学的検証の重要性が高まってきております。

それらの背景を踏まえ、「NPO法人 21 世紀の食と健康文化会議」は、“食と健康の科学”の健全な発展を目的として『食と健康を考える研究会』を設立いたしました。健康長寿を願うすべての人々が、正しい知識の普及を通して“食と健康の科学”への理解を深めることは、食産業の発展と健康長寿社会の実現へ必要不可欠なものと考えております。本研究会は、『産・学』に加え『官・民』が同じ目線で話し合える機会をもつことにより、“食と健康の科学”に対する共通した価値観を醸成することを目標とした活動のひとつとして公開シンポジウムの開催を企画いたしました。さらに、シンポジウム終了後には、懇親会もご用意しております。意見交換ならびに皆さまの知識の交流の場としてご活用いただければ幸いです。

あらゆる食と健康に関わる企業、教育、研究関係者の皆さまに加え、一般消費者の方々や未来を担う学生諸君も交え、《ともに食の未来を創る一步》を踏み出したいと考えております。

皆さまのご参加をお待ちしております。ぜひこの機会にご参加下さい。

【 開催概要 】

開催日時	平成 27 年 1 月 23 日（金） 13：00～20：00（懇親会 18：30～20：00）
会 場	星薬科大学 ホール（東京都品川区荏原 2-4-41）
参加対象	あらゆる食品および健康に関連する企業・教育・研究者、一般消費者どなたでも参加可能
内 容	■主催者挨拶（13：00～13：15） 本 NPO 法人 理事長 板倉弘重 ■基調講演（13：15～16：25） ・「健康長寿社会の発展を目指して —本研究会に期待すること」 神奈川県立保健福祉大学 学長 中村丁次氏 ・「複雑系への挑戦 —システム思考の応用」 東京大学先端科学技術研究センター 教授 児玉龍彦氏 ・「食の本質と食と健康の科学 —課題と提言」 茨城キリスト教大学 名誉教授 板倉弘重氏 <休憩（16：15～16：25）> ■パネルディスカッション（16：25～18：00） ・「産・学・官に期待される役割と課題 —食の開発を中心にして」 ◇パネリスト◇ - 板倉弘重氏（茨城キリスト教大学 名誉教授） - 大谷敏郎氏（（独）農研機構 食品総合研究所 所長） - 山野井昭雄氏（元・味の素株式会社 副社長） - 宇野薫氏（（株）タニタヘルスリンク 管理栄養士） 司会：宮田満氏（日経 BP 社 特命編集委員） ■本研究会の運営について（18：00～18：30） 本 NPO 法人 事務局長 島崎秀雄 ■懇親会（18：30～20：00）
参加費	5,000 円（懇親会費含む）／一般の方、学生、報道関係者は無料（懇親会費 3,000 円）
主 催	NPO法人 21 世紀の食と健康文化会議
協 賛	星薬科大学、静岡県立大学薬食研究推進センター、（社）日本生活習慣病予防協会、（認定 NPO 法人）セルフメディケーション推進協議会